雑図の部

大正十二年九月十日

震災地應急測圖原圖

一万分一地形圖東京近傍　拾九枚

陸地測量部

震災地応急測図原図（一万分一地形図） の記載内容

スライドページ	図名
3	一万分一地形図「千住」
4	一万分一地形図「向島」
5	一万分一地形図「深川」
6	一万分一地形図「洲崎」
7	一万分一地形図「三河島」
8	一万分一地形図「上野」
9	一万分一地形図「日本橋」
10	一万分一地形図「新橋」
11	一万分一地形図「品川台場」
12	一万分一地形図「王子」

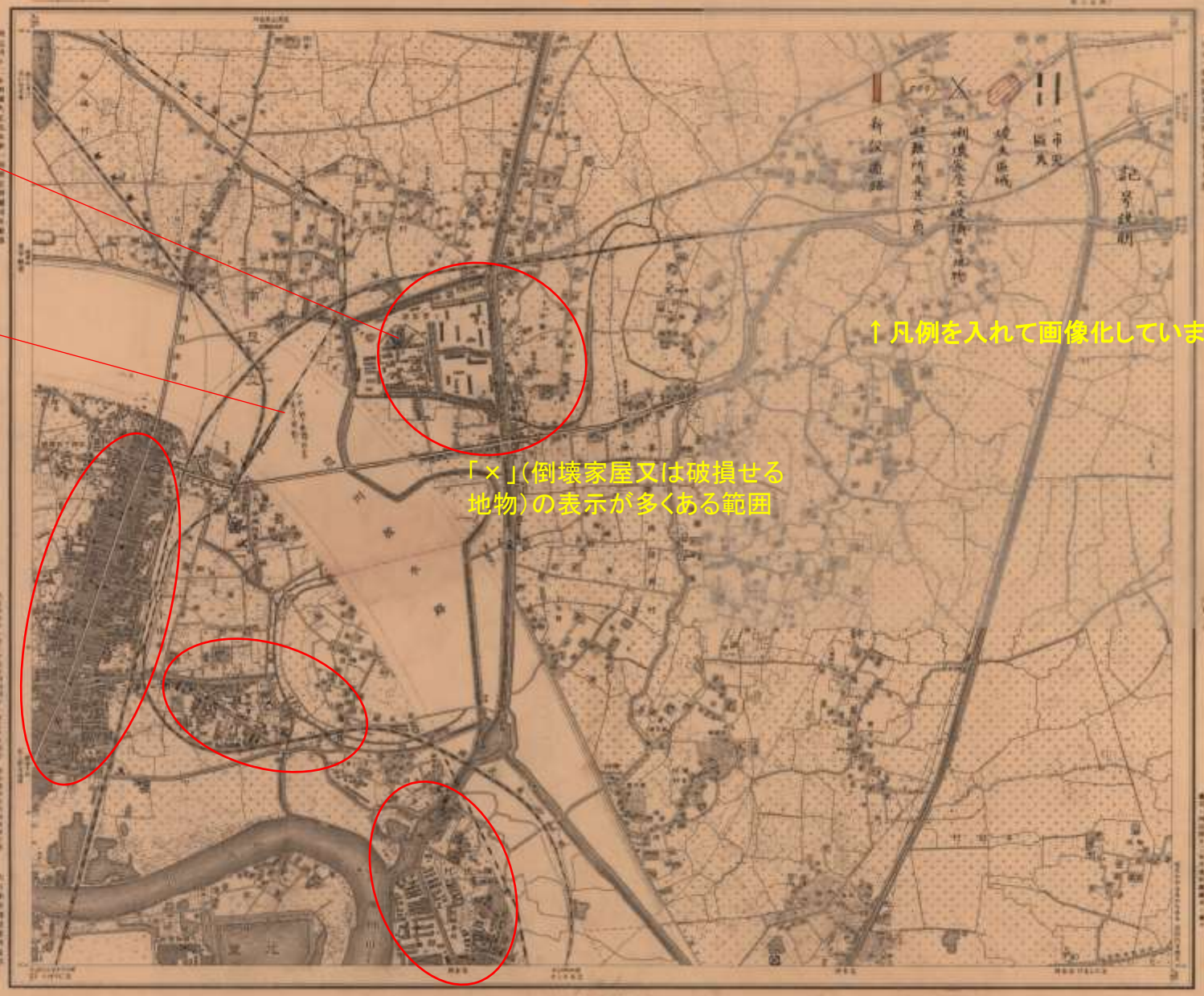
スライドページ	図名
13	一万分一地形図「早稲田」
14	一万分一地形図「四谷」
15	一万分一地形図「三田」
16	一万分一地形図「品川」
17	一万分一地形図「下練馬」
18	一万分一地形図「新井」
19	一万分一地形図「中野」
20	一万分一地形図「世田谷」
21	一万分一地形図「碑文谷」

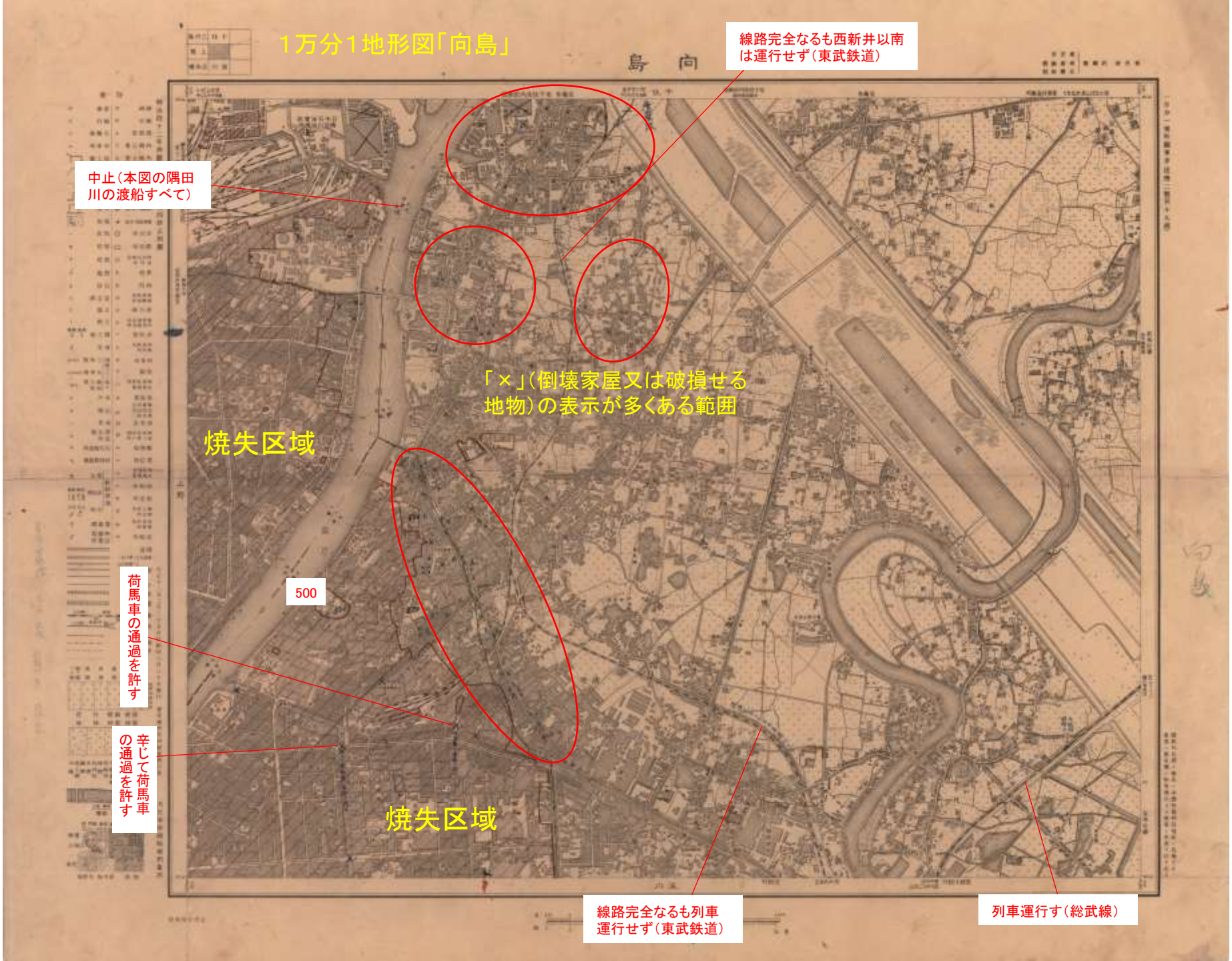
※赤字が現在の言葉に読み替えたものです
※原図に書かれている文字が解読できない場合は「○」にしています
※説明が密になる場合、適宜省いています
※黄色文字は国土地理院で追記したものです

※本地理資料は、作成当時の資料をそのままの形で使用しています。
現代においては適切ではないと思われる表現を含む資料がある可能性もありますが、その資料が成立した時代を表す歴史的・学術的資料として、ご理解・ご留意の上でご利用くださいますようお願いいたします。

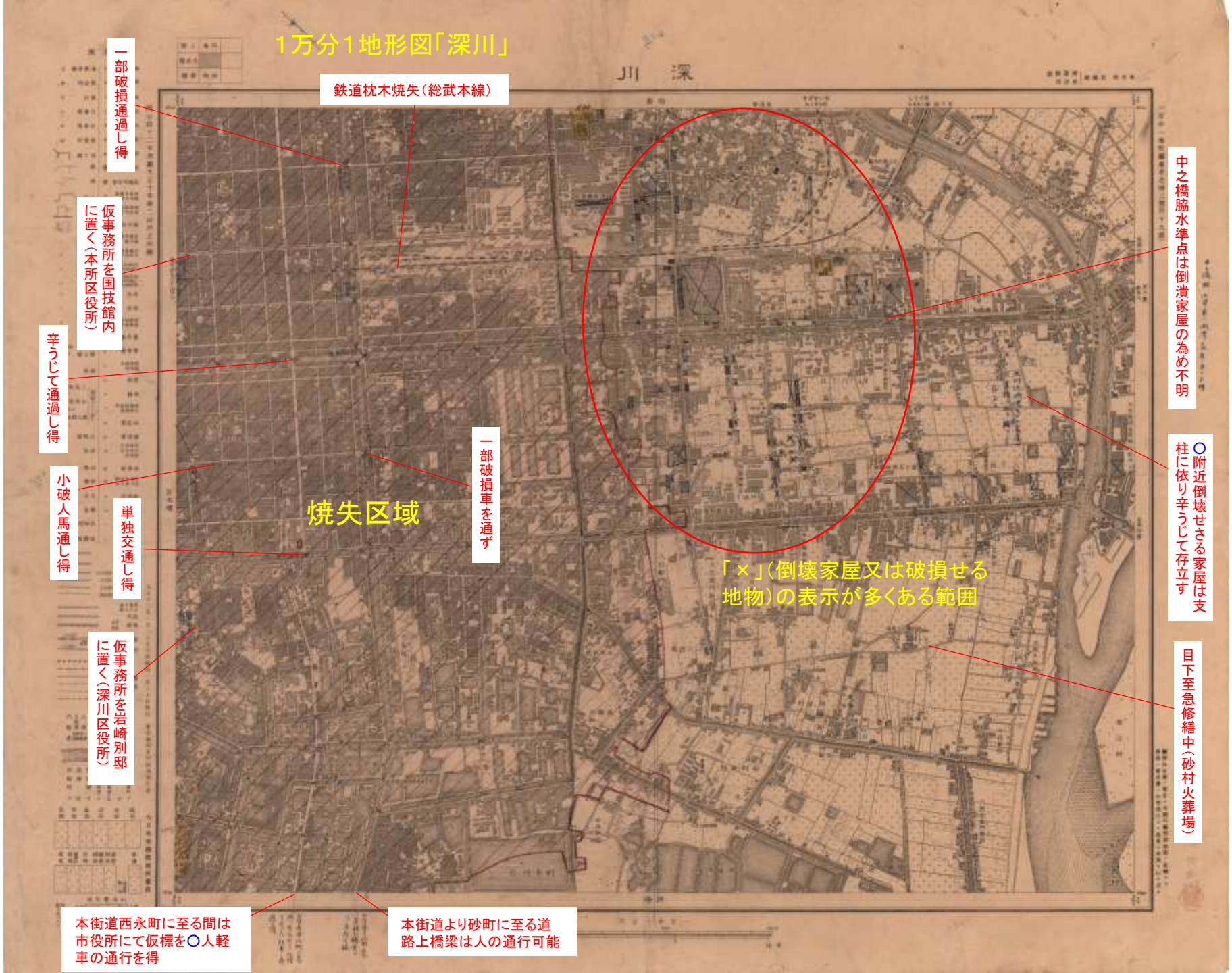
令和5年4月
国土地理院作成

1万分1地形図「千住」

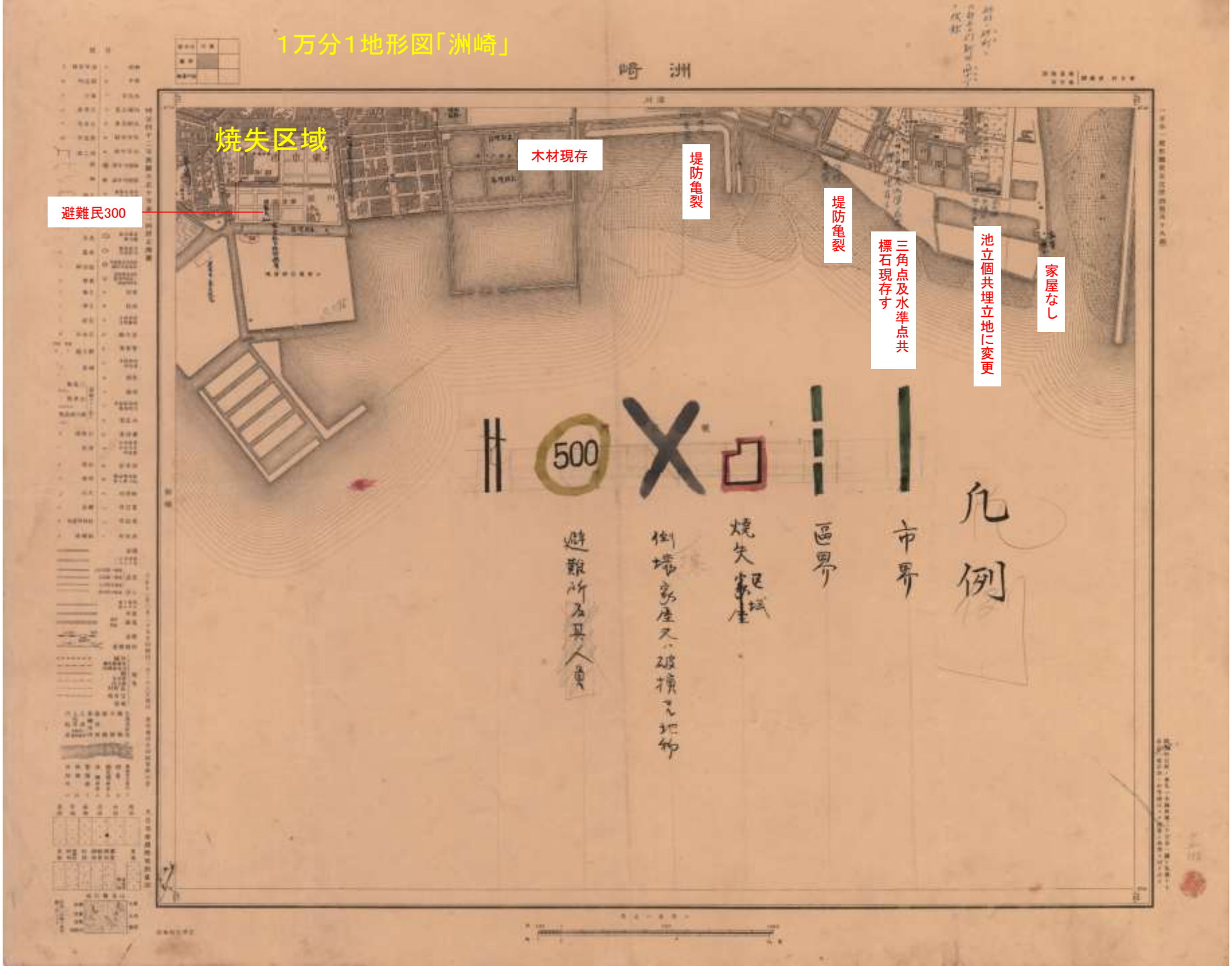

千住
亀裂を生じ使用に堪えず（小菅監獄）
此の部に於て鉄橋約三尺東方に移動す
↑凡例を入れて画像化しています
「×」（倒壊家屋又は破損せる地物）の表示が多くある範囲


1万分1地形図「向島」
向島
線路完全なるも西新井以南は運行せず（東武鉄道）
中止（本図の隅田川の渡船すべて）
「×」（倒壊家屋又は破損せる地物）の表示が多くある範囲
焼失区域
500
荷馬車の通過を許す
辛じて荷馬車の通過を許す
焼失区域
線路完全なるも列車運行せず（東武鉄道）
列車運行す（総武線）

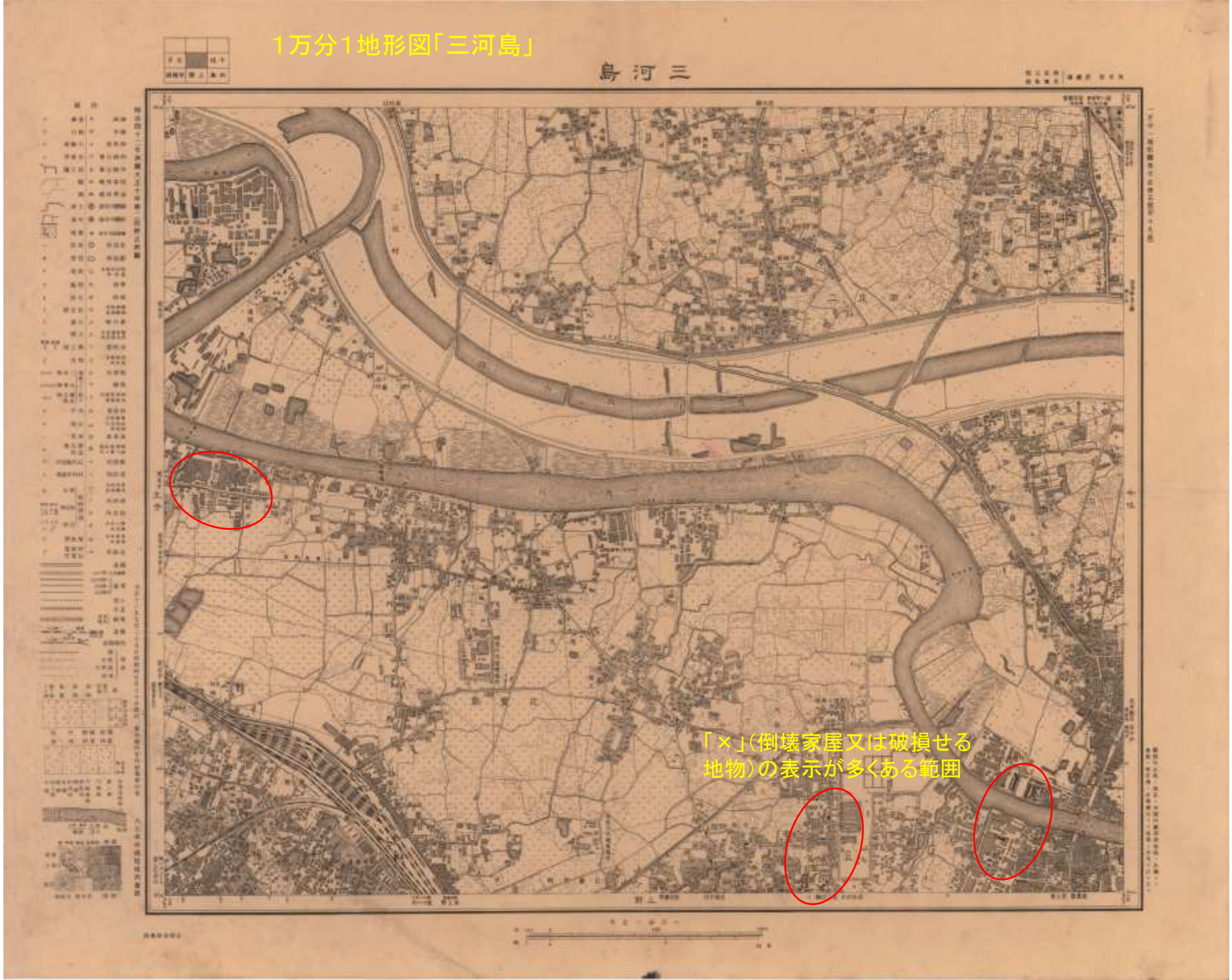
1万分1地形図「深川」

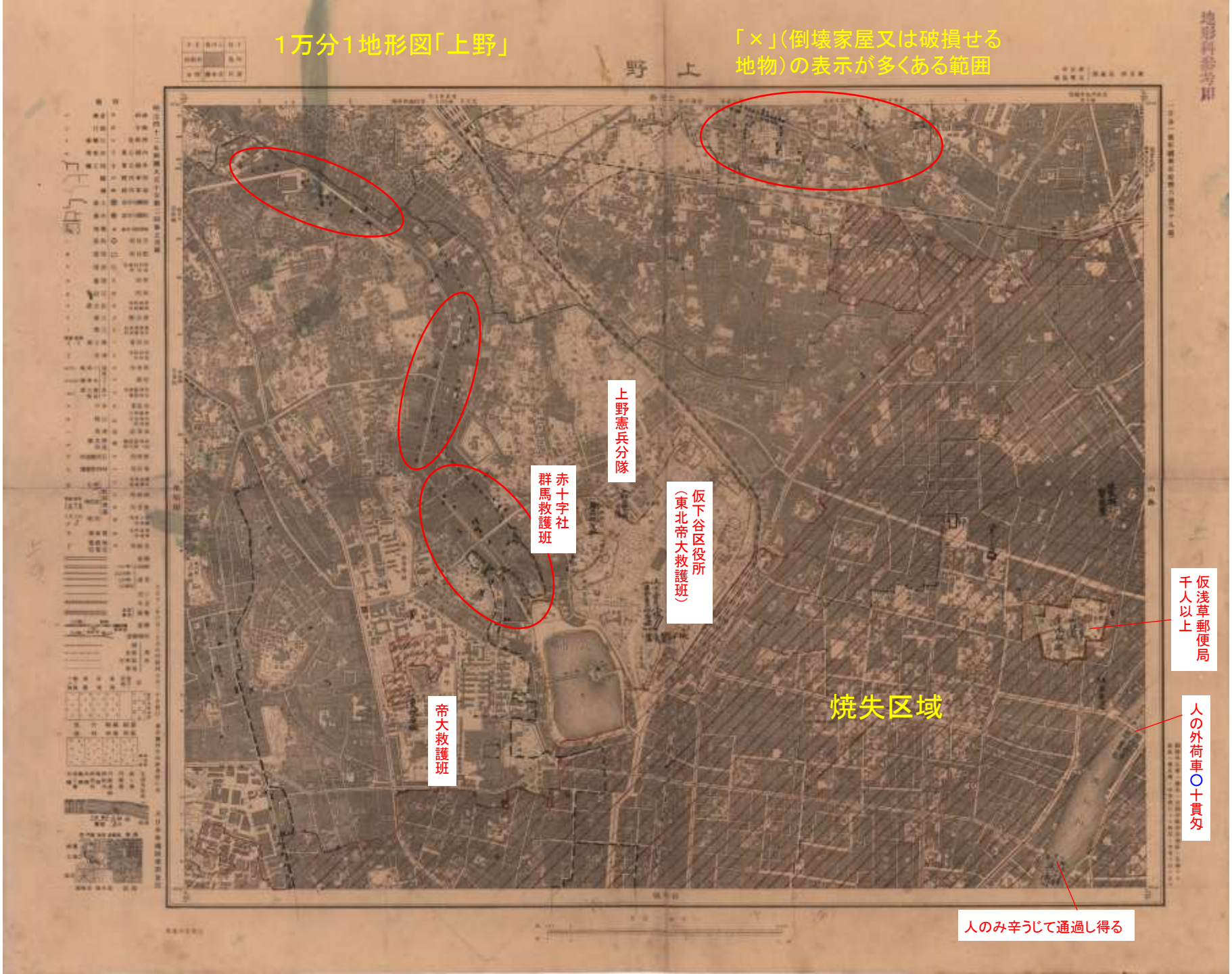

深川
一部破損通過し得
鉄道枕木焼失（総武本線）
仮事務所を国技館内に置く（本所区役所）
辛うじて通過し得
小破人馬通し得
単独交通し得
仮事務所を岩崎別邸に置く（深川区役所）
焼失区域
一部破損車を通ず
中之橋脇水準点は倒潰家屋の為め不明
○附近倒壊せさる家屋は支柱に依り辛うじて存立す
「×」（倒壊家屋又は破損せる地物）の表示が多くある範囲
目下至急修繕中（砂村火葬場）
本街道西永町に至る間は市役所にて仮標を○人軽車の通行を得
本街道より砂町に至る道路上橋梁は人の通行可能

1万分1地形図「洲崎」


洲崎
焼失区域
木材現存
堤防亀裂
堤防亀裂
三角点及水準点共標石現存す
池立個共埋立地に変更
家屋なし
避難民300
500
凡例
市界
區界
焼失区域
倒壊家屋又ハ破損セル地物
避難所及其人員

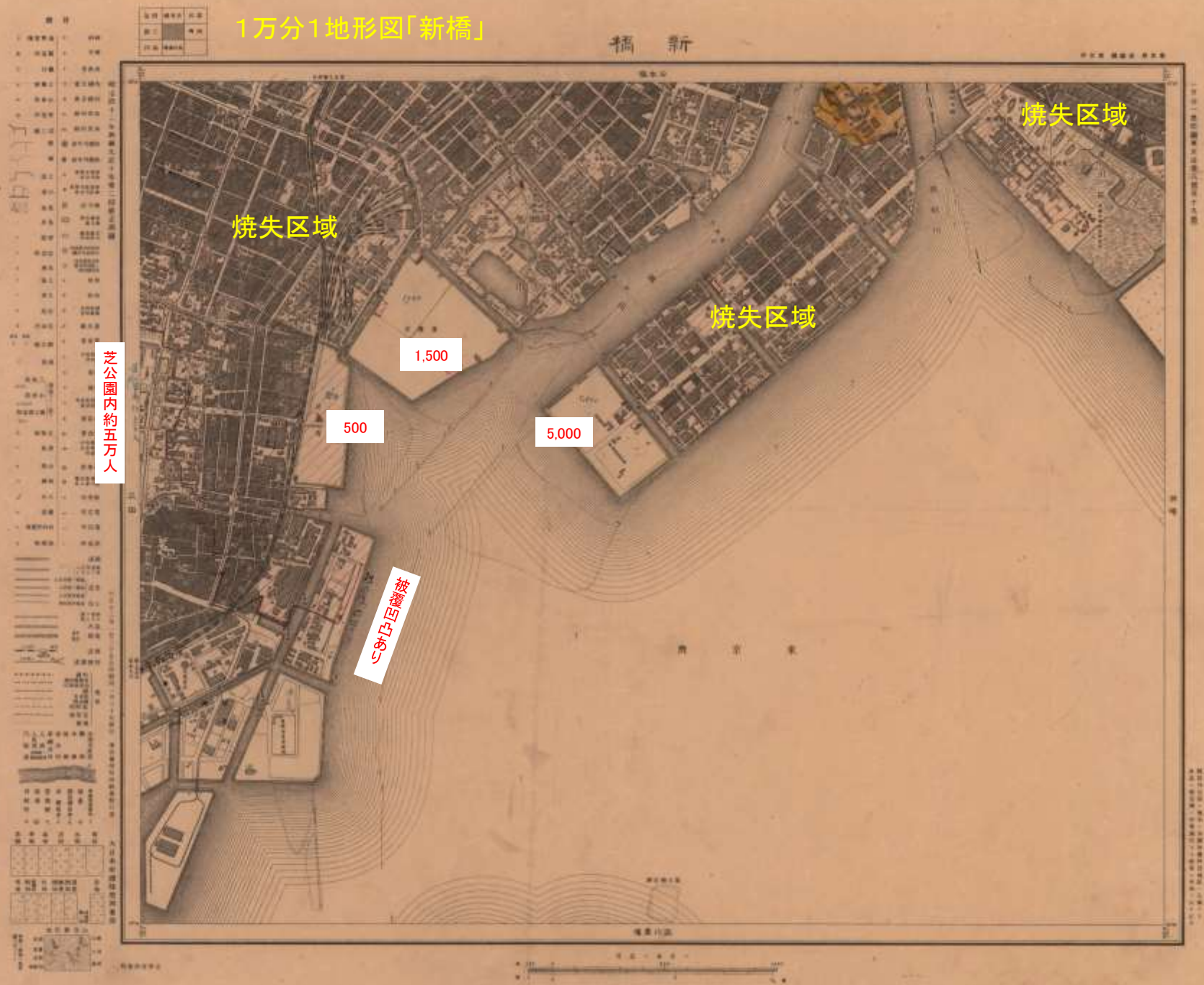
1万分1地形図「三河島」




1万分1地形図「上野」
「×」(倒壊家屋又は破損せる地物)の表示が多くある範囲
上野
上野憲兵分隊
赤十字社群馬救護班
仮下谷区役所（東北帝大救護班）
帝大救護班
焼失区域
仮浅草郵便局千人以上
人の外荷車○十貫匁
人のみ辛うじて通過し得る

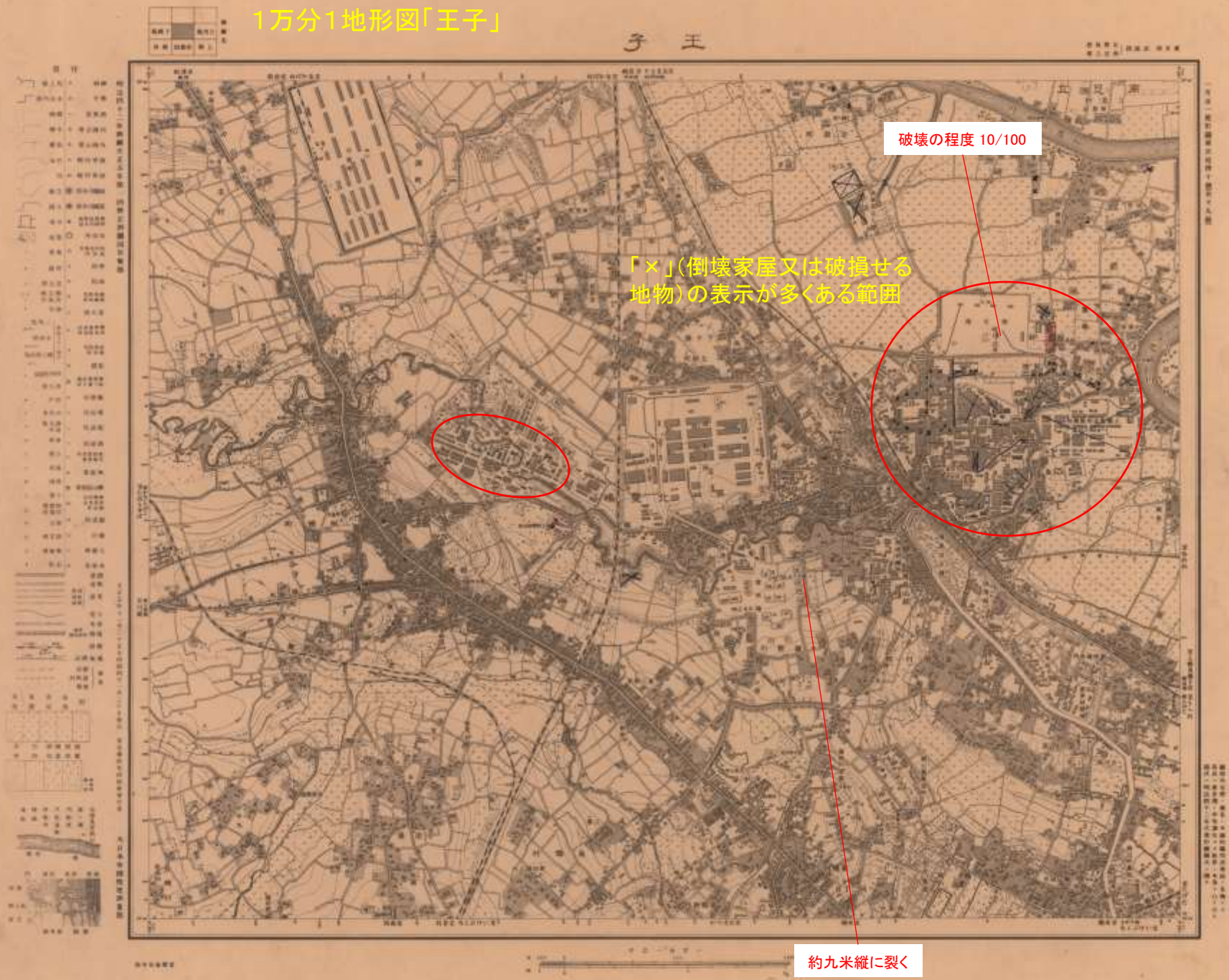
1万分1地形図「日本橋」

1万分1地形図「新橋」



1万分1地形図「品川台場」

1万分1地形図「王子」

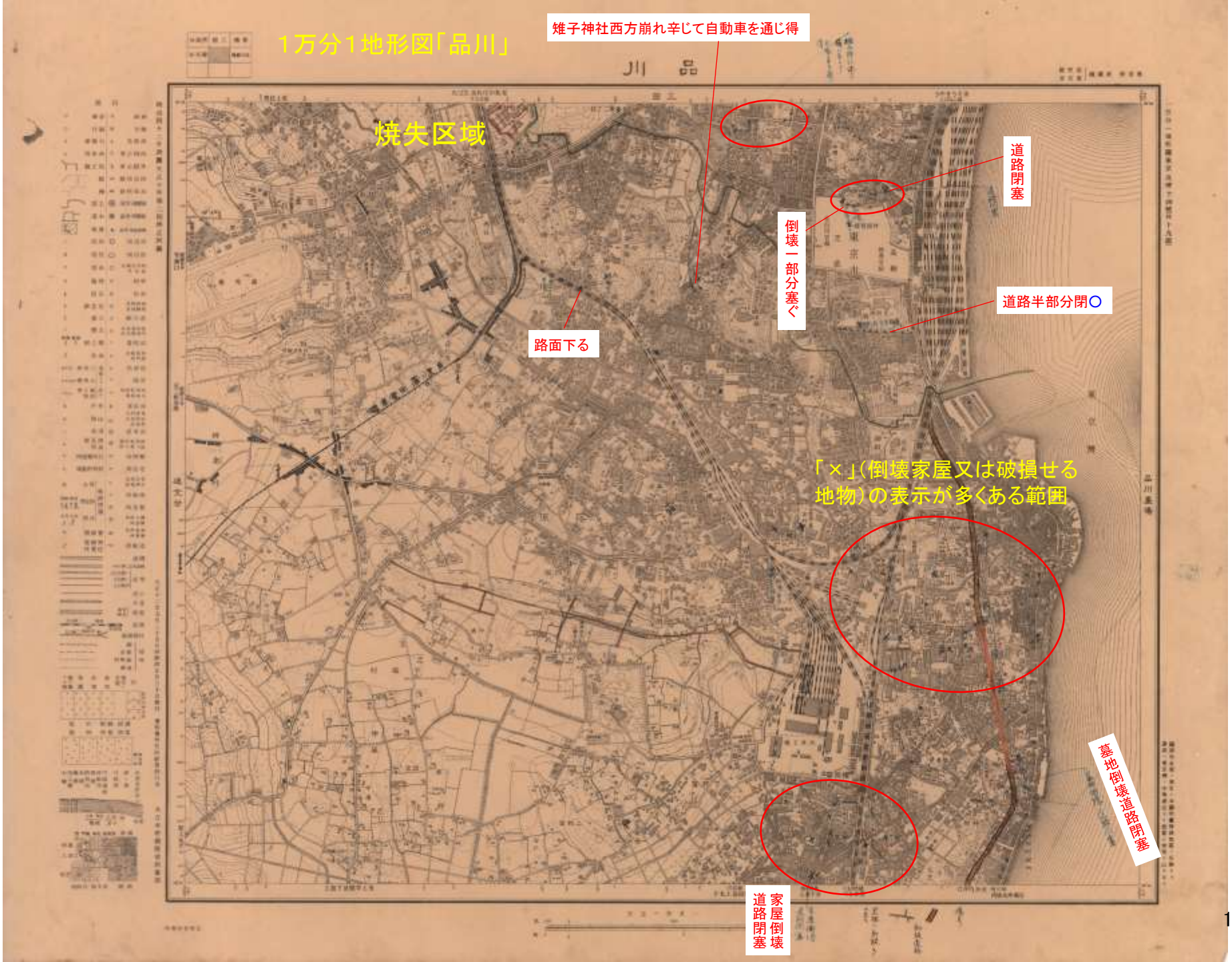


1万分1地形図「早稲田」

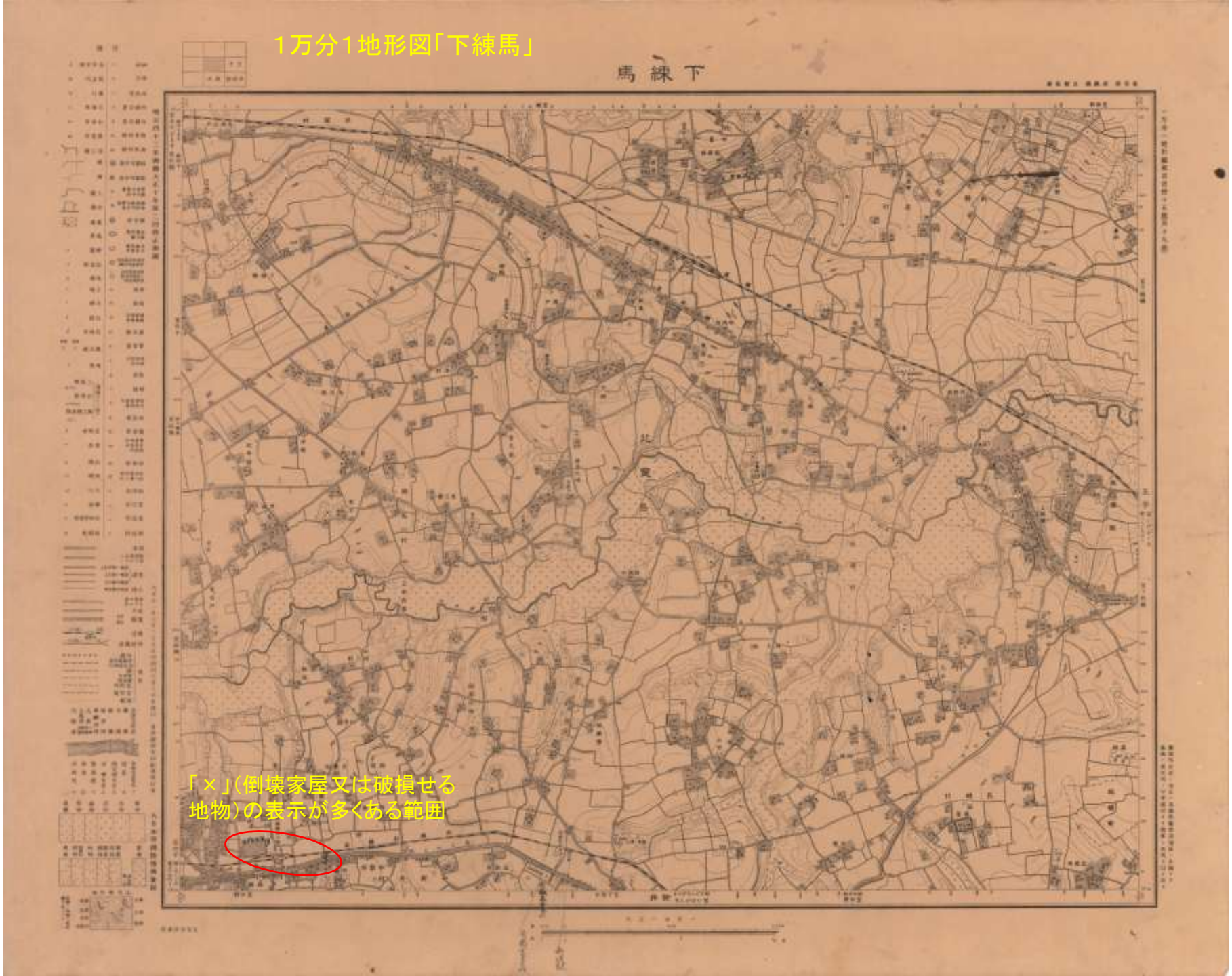
1万分1地形図「四谷」

四谷
焼失区域
「×」(倒壊家屋又は破損せる地物)の表示が多くある範囲
焼失区域
焼失区域
ガケ崩壊せるも自動車通す
焼失区域

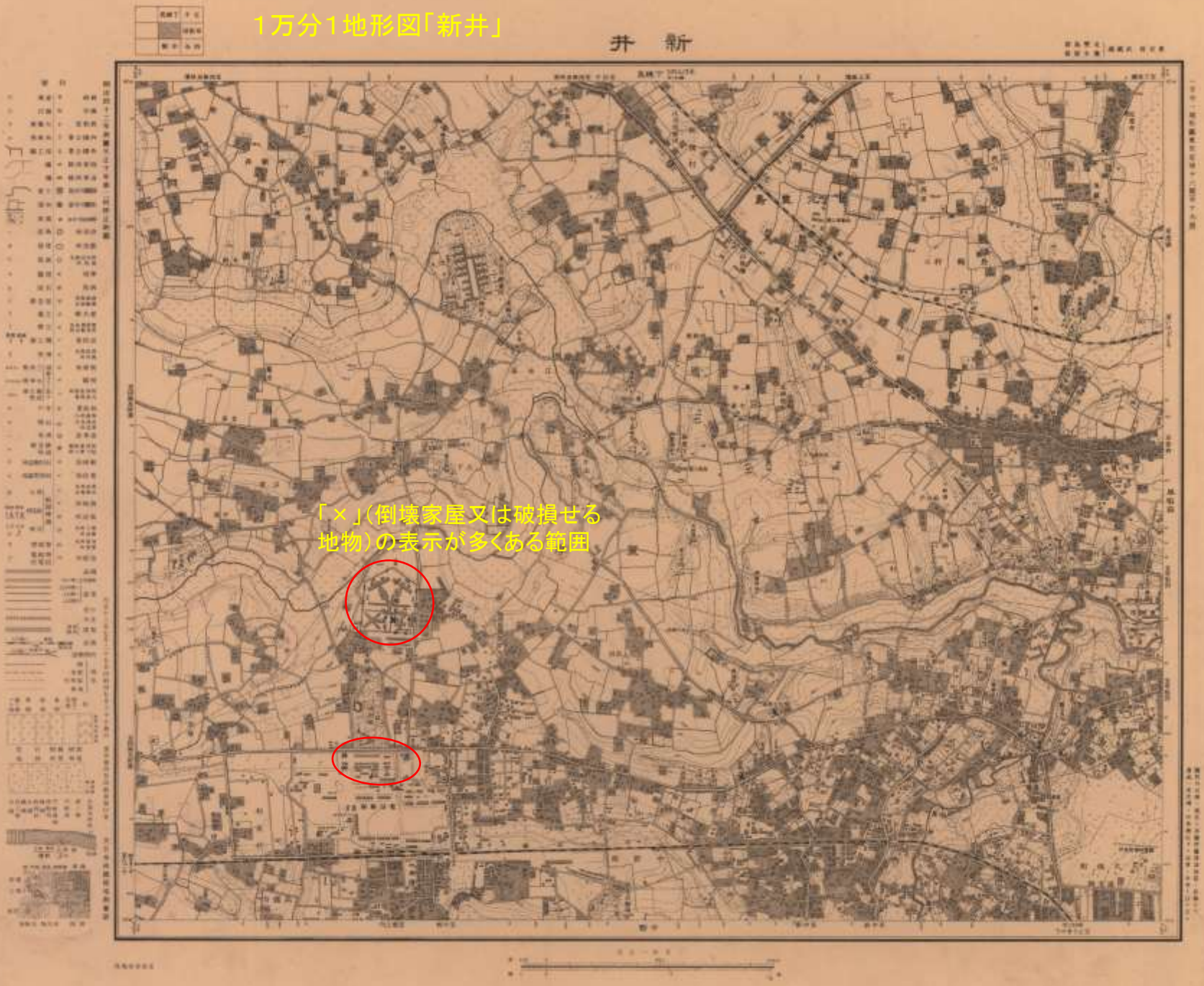
1万分1地形図「三田」


1万分1地形図「品川」
雑子神社西方崩れ辛じて自動車を通じ得
品川
焼失区域
道路閉塞
倒壊一部分塞ぐ
道路半部分閉○
路面下る
「×」(倒壊家屋又は破損せる地物)の表示が多くある範囲
墓地倒壊道路閉塞
家屋倒壊道路閉塞

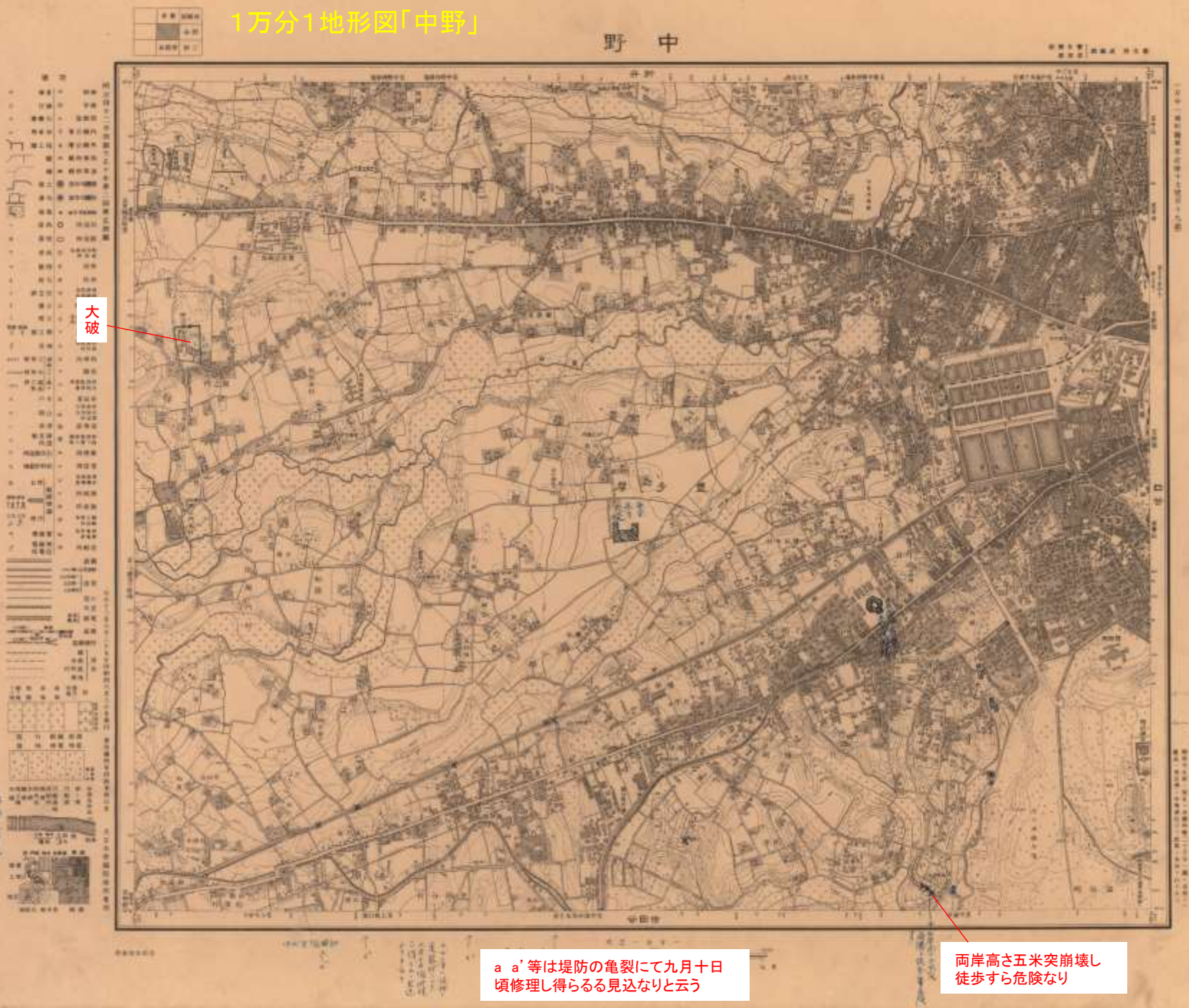
1万分1地形図「下練馬」



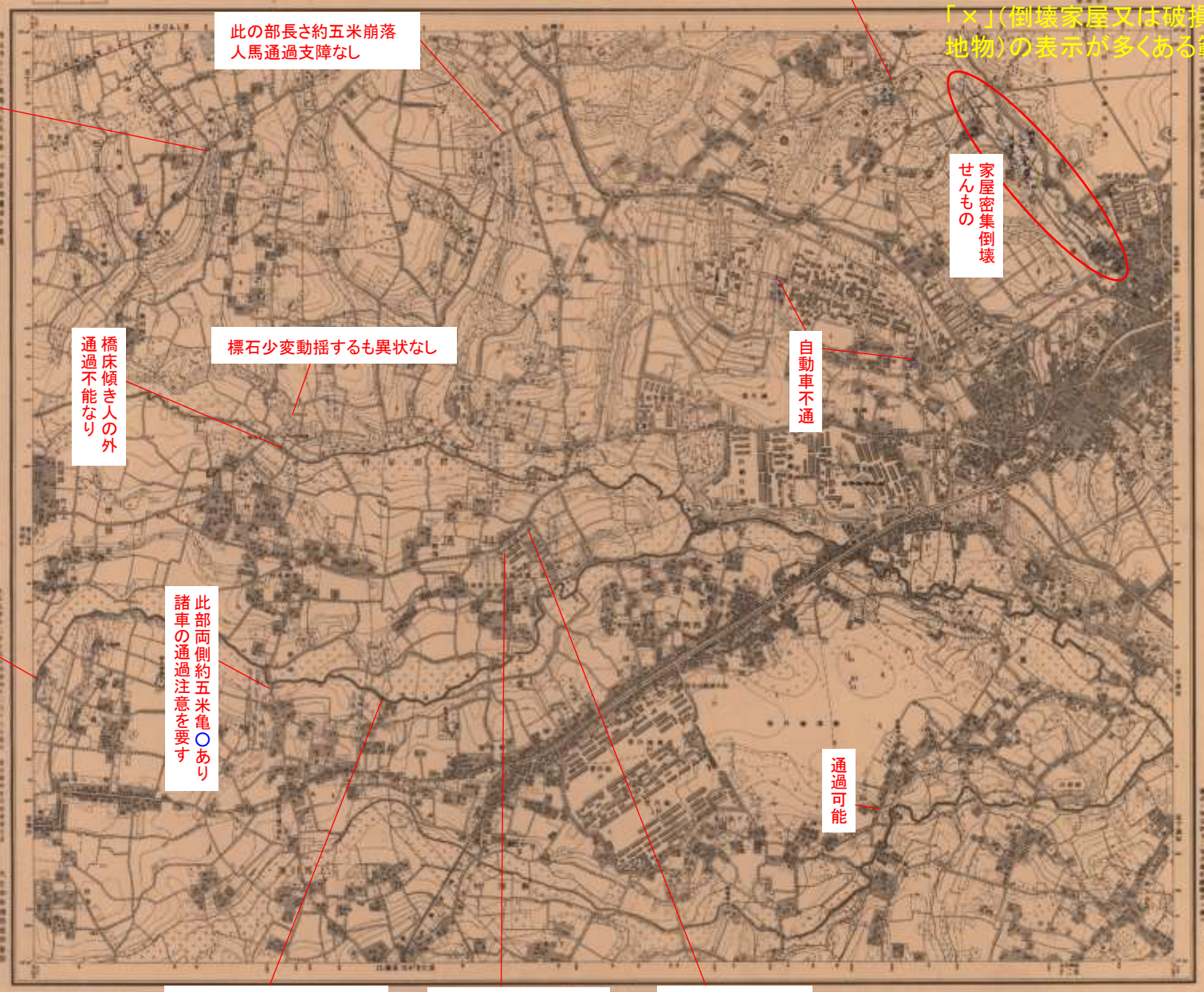
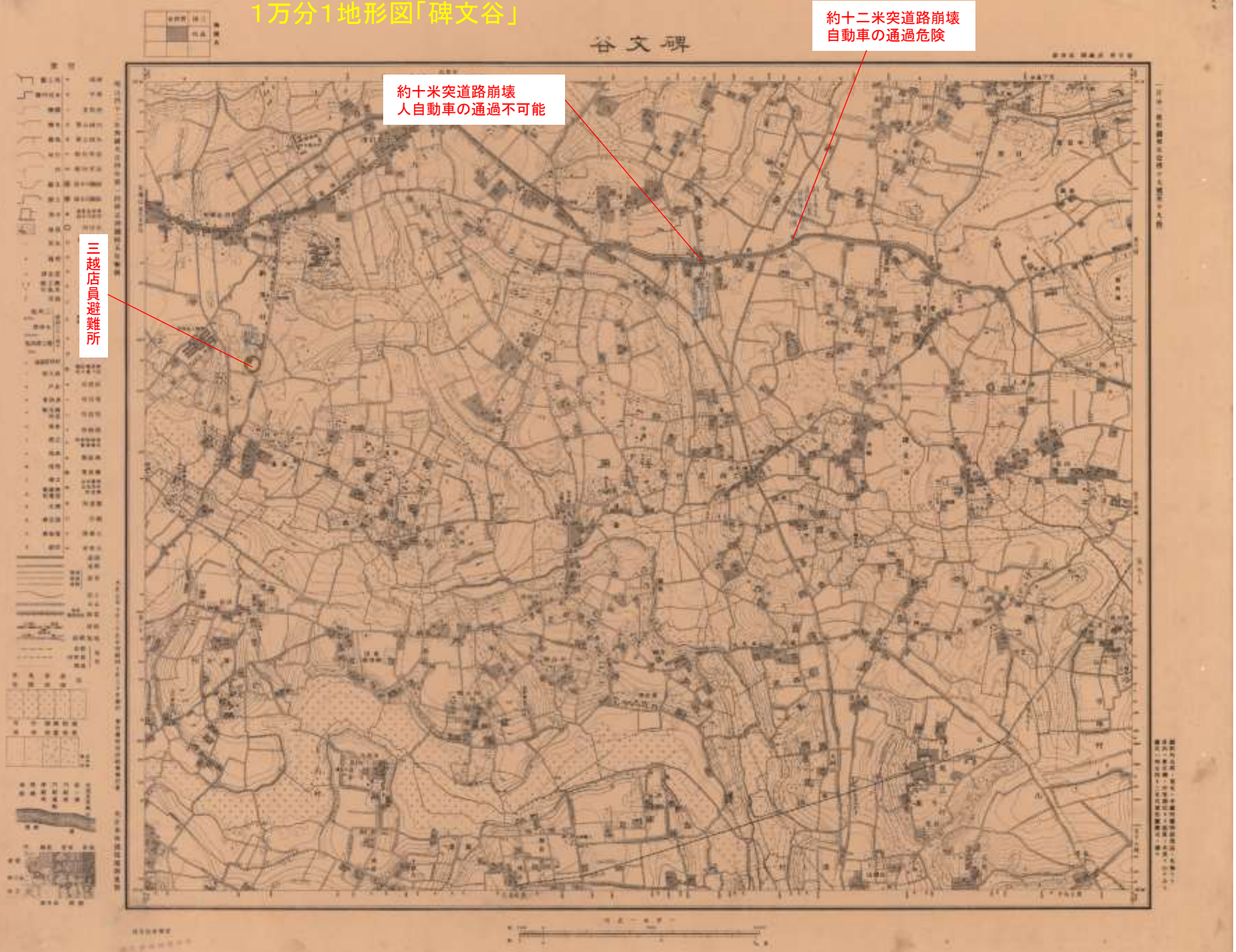
1万分1地形図「新井」



1万分1地形図「中野」


野　中
大破
a　a' 等は堤防の亀裂にて九月十日頃修理し得らるる見込なりと云う
両岸高さ五米突崩壊し徒歩すら危険なり

1万分1地形図「世田谷」


世田谷
自動車通過不通
「×」(倒壊家屋又は破損せる地物)の表示が多くある範囲
此の部長さ約五米崩落人馬通過支障なし
此部約三米崩落せるも通過支障なし
家屋密集倒壊せんもの
自動車不通
標石少変動揺するも異状なし
橋床傾き人の外通過不能なり
橋梁墜落せるも人のみ通過を得
此部両側約五米亀○あり諸車の通過注意を要す
通過可能
橋架傾き人辛じて通過し得
倒壊せざるも大亀裂を生じ接近危険なり
土堤崩壊せるも通過支障なし

1万分1地形図「碑文谷」